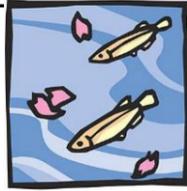


はじめの一步



新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 117 (令和7年3月19日)

高等部卒業生の進路決定までの道のり

進路指導主事 窪田 幸子

今年度の高等部3年生は3月24日に卒業式を迎えます。この3年間、「卒業したら社会人」を合言葉に学習を積み上げてきました。

～令和6年度高等部3年生の進路～

企業		福祉サービス		その他	計(名)
飲食	卸売	就労継続支援B型	施設入所		
1	1	3	1	2	8

1年生では・・・

社会生活や職業生活を送るための基本的な力を身に付け定着させることを目標にしてきました。高等部の各教室には、右の8枚のカードが貼ってあり、いつでも意識できるようにしています。

がんばってほしいこと

- げん気・やる気
きょうもがんばるぞ
・あさごはん
・しっかりねる
・体力作り
- わからないことがあったら、すぐにきく!
自分から聞けたね
この仕事はこうするんだよ
どうしたらいいですか?
- いわれたことをちゃんとやる
この仕事をまちがえないようにがんばりなさい!
はい! がんばります!
- じかんとまもって おしごとをする
私は5時までお仕事がんばります!
- そうじ、かたづけをきちんとする!
- まちがってしまったらすぐにほうこくしてあやまる!
大丈夫だよ つぎはがんばろう!
まちがえをしたごめんなさい
- 身だしなみをととのえる
- いつも笑顔で元気よく!

2年生では・・・

様々なことに“チャレンジ”し、自分の得意なこと、苦手なこと、こんな支援があればできるなど自己理解を深め、進路選択につなげてきました。

3年生では・・・

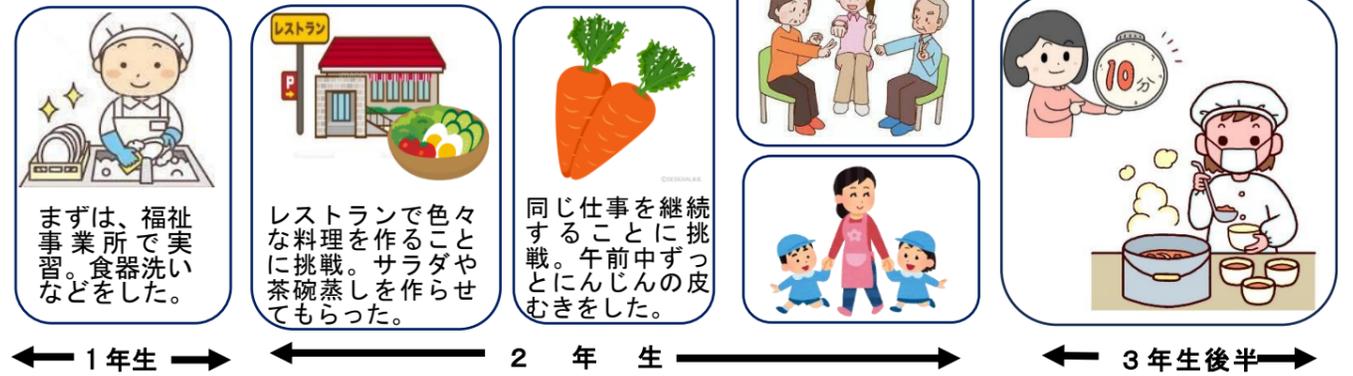
進路の方向性を定め、「決意」と「覚悟」をもって学校生活や実習に取り組みました。

- ・自分の決めた進路先に合格するんだという“決意”
- ・目標を達成するために、やるべきことを最後までやり抜く“覚悟”

～3年間の取組の一部を紹介します～

～Aさんの場合～

「調理の仕事」と「子どもと関わる仕事」、どちらが自分に合っているのか迷っていました。調理といっても様々なので、福祉事業所の喫茶、レストラン、宅配弁当を作る企業で実習しました。また、保育園だけでなく、授業で学んだ福祉サービスを生かせる高齢福祉施設でも実習を行い高等部2年生の終わりにレストランで働きたいと方向性を決めました。スピードを要求される仕事なので、採用が決まった後も、給食当番で、時間や効率を意識して練習を積み重ねました。



～Bさんの場合～

農業に関する仕事がしたい!!という強い思いがありました。2年生の前期現場実習では、熱い中、2週間間ぼで溝切などの仕事に挑戦させていただき自分の力を試しました。後期現場実習では農機具の整備補助の仕事をしていただきました。しかし、条件が合わず就労に結び付くことはありませんでした。2年生の3学期から春休みにかけて担任の先生と何度も面談を重ね、農家の方が作ったお米を精米・梱包しお客様に届ける企業に出会い、3年生の前期・後期と実習させていただき就労に結び付きました。



～それぞれの挑戦～

【Cさん】

1年生から3年生の前期にかけて、市内のすべての福祉事業所(就労継続支援B型)で実習させていただきました。そして、ここに行きたい!!という事業所に出会いました。さらに、企業でも実習させていただきました。そして、卒業後は、福祉事業所で力を付けて次のステップに進みたいという目標ができました。

【Dさん】

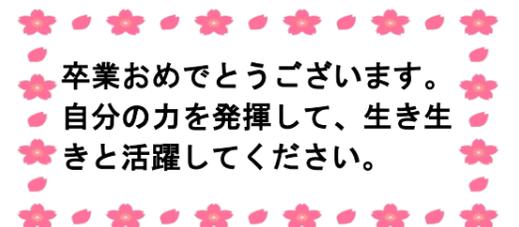
様々な職種に挑戦し、時には市外まで実習に行き、自分の力を試しました。その結果、自分の今の力を知り納得して進路を決めました。ここからがスタートだと、進路先での目標もできました。

【Eさん】

春休みに本人・保護者様と事業所を見学しました。事業所の都合に合わせ、夏休みや学校の実習期間外も実習を行いました。そのたびに保護者様には遠くまで(市外)送迎に協力していただきました。おかげでスムーズに進路が決定しました。

～成長の様子～

1年生や2年生の前期現場実習では、疲れたり困難な作業だったりすると涙を流すことがありました。しかし、「困ったときは報告する」、「自分の体調を知り、時間を決めて休憩する」という目標を決め実践を重ねてきた結果、1日通して働く力を付けました。



～PTA進路研修～

2月7日、「親なきあとを考える」というテーマで、魚沼市権利擁護サポートセンター様より御講話いただきました。大雪の中、17名の方が参加してくださいました。成年後見制度について、「成年後見人って何をしてくれるの?」「費用は?」など知りたいことを項目ごとに分かりやすく説明してくださいました。また、日常生活支援事業について、事例を交えて事業概要等を説明してくださいました。

“様々な福祉制度を知り、何を優先させて取組むのか、親が元気なうちから準備をする”ということが大切だと教えていただきました。



～移行支援会議・卒業後のアフターケア～

高等部3年生の卒業後の進路が決まった生徒に対して、移行支援会議を行います。例年、2月下旬から3月下旬にかけて行っています。

移行支援会議とは・・・

目的	学校から卒業後の生活への移行をスムーズにするため	
内容	・卒業後の本人・保護者の願いを実現するための情報交換 ・支援内容の確認 ・準備しておくこと、4月からの利用や勤務についての確認 など	
参加者	福祉サービス利用	本人、保護者、福祉サービス事業所、相談支援員、学校職員（担任、進路）
	企業就労	本人、保護者、企業、障がい者就業・生活支援センターあおぞら、学校職員（担任、進路）

卒業後も1年間を目途に、地域の相談支援員様やあおぞら様と連携し情報を共有しながら、卒業生の様子を見守っていきます。

～1年間ありがとうございました～

今年度も、研修会への参加、実習中の送迎・お弁当作り等ありがとうございました。また、日々の進路指導に対し、御理解・御協力いただき大変感謝しております。

新年度も御家庭と協力しながら、児童生徒の発達段階に応じた力を積み上げていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。



当校のホームページを是非、御覧ください。 URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/>

お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部 TEL 025-792-5412